（ 数 学 Ⅰ ） 学 習 指 導 案

学 級	1年5組（F講座）	教 室	217教室	指導者	（省略）
単 元	第1章 方程式と不等式			教科書	新編 数学Ⅰ（数研出版）

指導目標	数を実数まで拡張することの意義を理解させ、式の見方を豊かにするとともに、1次不等式及び2次方程式について、その性質や解法の仕方を理解し、活用できるようにさせる。	指導計画	1 式の計算・・・・・・・・・・・・・・・7時間 2 実数・・・・・・・・・・・・・・・・・・6時間 3 方程式と不等式・・・・・・・・・・・ 11時間 （本時はその10） 4 補充問題、章末問題 発展・・・・・・4時間

本時の主題	2次方程式の解き方
前時の課題	教科書p.43～p.45を予習する。

目標
1 因数分解を使って2次方程式を解くとき、数の積の性質を使っていることを理解させ、その習熟を図る。
2 平方根の考えを使うとき方を理解させる。

		指導内容	時間	指導上の留意点	資料・教具・評価基準等
指導過程	導入	本時の目標を確認する。	5	・2次方程式の解き方を学習することを確認させる。	プリント ＜知識・理解＞
	展開	1 例28 $x^2-2x-3=0$ を解かせ、「数の積の性質」を説明する。 数の積の性質 「 $AB=0$ ならば $A=0$ または $B=0$ 」	15	・因数分解を使って2次方程式を解くとき、ただ機械的に解くのではなく、「数の積の性質」を使っていることに注意させる。	＜関心・意欲・態度＞ ＜知識・理解＞
		2 例題15 $2x^2+x-6=0$ の解法を説明し、練習61を解かせる。	15	・たすき掛けを使って因数分解させ、正確に解を出させる。.	＜表現・処理＞
		3 例29を説明し、練習62を解かせる。	5	・平方根の定義から2次方程式の解を求めることを確認させる。	＜知識・理解＞
		4 例30を解説し、問題を解かせる。	5	・因数分解をすることができない場合の解き方を考えさせる。	
	整理	1 本時のまとめをする。 2 次時の予告をする。	5	・課題を提示する。	

次時の課題	『改訂版 クリアー数学Ⅰ＋A』p.21の89・90を解く。
備 考	普通科 生徒数 20名 （男子6名、女子14名）